

市指定文化財資料（令和6年7月1日付け指定）

■^{とみおく}富奥の虫送り

- 1 指 定 種 別 民俗文化財（無形民俗文化財）
- 2 名 称 富奥の虫送り
- 3 所 在 地 野々市市富奥地区
- 4 所有者及び住所 富奥虫送り保存会
(野々市市中林五丁目)
- 5 指定の理由



富奥の虫送りは、7月中旬に富奥地区において、富奥虫送り保存会によって行われます。芸態は、道中太鼓・送り太鼓・とまり太鼓などを打ち鳴らしながら、松明を手に田んぼを周り、最後に「虫送り」と書いた火縄アーチをくぐって広場に集結、大きな^{もうそうちく}孟宗竹を芯にした焚火を囲み、太鼓を乱打します。富奥地区は、^{たへいじ}太平寺、^{しもぼやし}下林、^{くらいかわ}位川、^{さん}三納、^{やはぎ}矢作、^{あわだ}栗田、^{とへいだ}藤平田、^{ふじひら}藤平、^{きよかね}清金、^{すえまつ}末松、^{なかぼやし}中林、^{かんばやし}上林、^{かみしんじょう}上新庄、^{しもしんじょう}下新庄の14集落からなり、それぞれの町会ごとに地区の神社等を起点とし、広場に集結します。加賀には源平の合戦で平家の武将、^{さいとうさねもり}斎藤実盛の馬が^{つまづ}稲株に躓いて落馬し打ち取られ、その怨霊がウンカ虫となり稲に害を与えとの伝説が知られており、富奥地区では、加賀国守護職の^{とがしまさちか}富樫政親がウンカのごとく押し寄せる一向一揆軍に屈し自害、その政親の怨念がウンカに化身、虫害を起こすとの伝説が伝えられています。富奥の虫送りは、稲作地域における伝統行事として、また、太鼓の演舞による芸能的要素を継承するものとして貴重であることから指定となりました。

■^{おきょうづか}御経塚の虫送り

- 1 指 定 種 別 民俗文化財（無形民俗文化財）
- 2 名 称 御経塚の虫送り
- 3 所 在 地 野々市市御経塚
- 4 所有者及び住所 御経塚青年会（野々市市御経塚）
- 5 指定の理由



御経塚の虫送りは、7月中旬に御経塚において、御経塚青年会によって行われます。芸態は、道中太鼓・送り太鼓・とまり太鼓などを打ち鳴らしながら、松明を手に田んぼを周り、最後に「虫送」と書いた火縄アーチをくぐって広場に集結、焚火を囲み、太鼓を乱打します。御経塚では、近隣の他地区との共演である「イイ」を行っています。かつては「^{ごこくじょうじゅいなむしおく}五穀成就稲虫送り」と墨書した小旗を手に田んぼを周り、行列の先頭に町会の高張提灯をかかげたと伝わっています。御経塚の虫送りは、稲作地域における伝統行事として、また、太鼓の演舞による芸能的要素を継承するものとして貴重であることから指定となりました。

■^{おしの}押野の虫送り

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 指 定 種 別 | 民俗文化財（無形民俗文化財） |
| 2 名 称 | 押野の虫送り |
| 3 所 在 地 | 野々市市押野 |
| 4 所有者及び住所 | 押野町内会青年部（野々市市押野） |

5 指定の理由

押野の虫送りは、7月中旬に押野において、押野町内会青年部によって行われます。芸態は、道中太鼓・送り太鼓・とまり太鼓などを打ち鳴らしながら、松明を手に田んぼを周り、最後に「虫送」と書いた火縄アーチをくぐって広場に集結し焚火を囲み、太鼓を乱打します。押野の虫送り太鼓を叩くバチは、オオバイ・コバイの2種類を使い分けているのが特徴です。また、近隣の他地区との共演である「イイ」を行っています。押野の虫送りは、稲作地域における伝統行事として、また、太鼓の演舞による芸能的要素を継承するものとして貴重であることから指定となりました。

